

お知らせ

記者発表資料

令和3年10月5日

提供先：島根県政記者会

宍道湖で今年初めてアオコを確認しました

国土交通省出雲河川事務所が管理する宍道湖～境水道の区間内で、今年初めてアオコを確認しました。

【アオコ確認状況】

確認月日：○令和3年10月4日（月）

河川巡視においてアオコを確認。

確認場所：北岸：松江市西浜佐陀町～松江市大垣町（別図のとおり）

西岸：出雲市斐川町（別図のとおり）

確認状況：レベル2～3を確認

発生種：ミクロキスチス

今後の対応：引き続き、国土交通省において状況監視を行うとともに、関係機関と情報共有します。今後のアオコに関する情報はウェブサイトでお知らせします。

なお、レベル4以上のアオコが確認された場合は再度お知らせいたします。

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/shiryokan/aoko/index.html>

現時点では、直ちに対策が必要な状況ではありません。

問い合わせ先

国土交通省 出雲河川事務所 計画課（河川環境室）

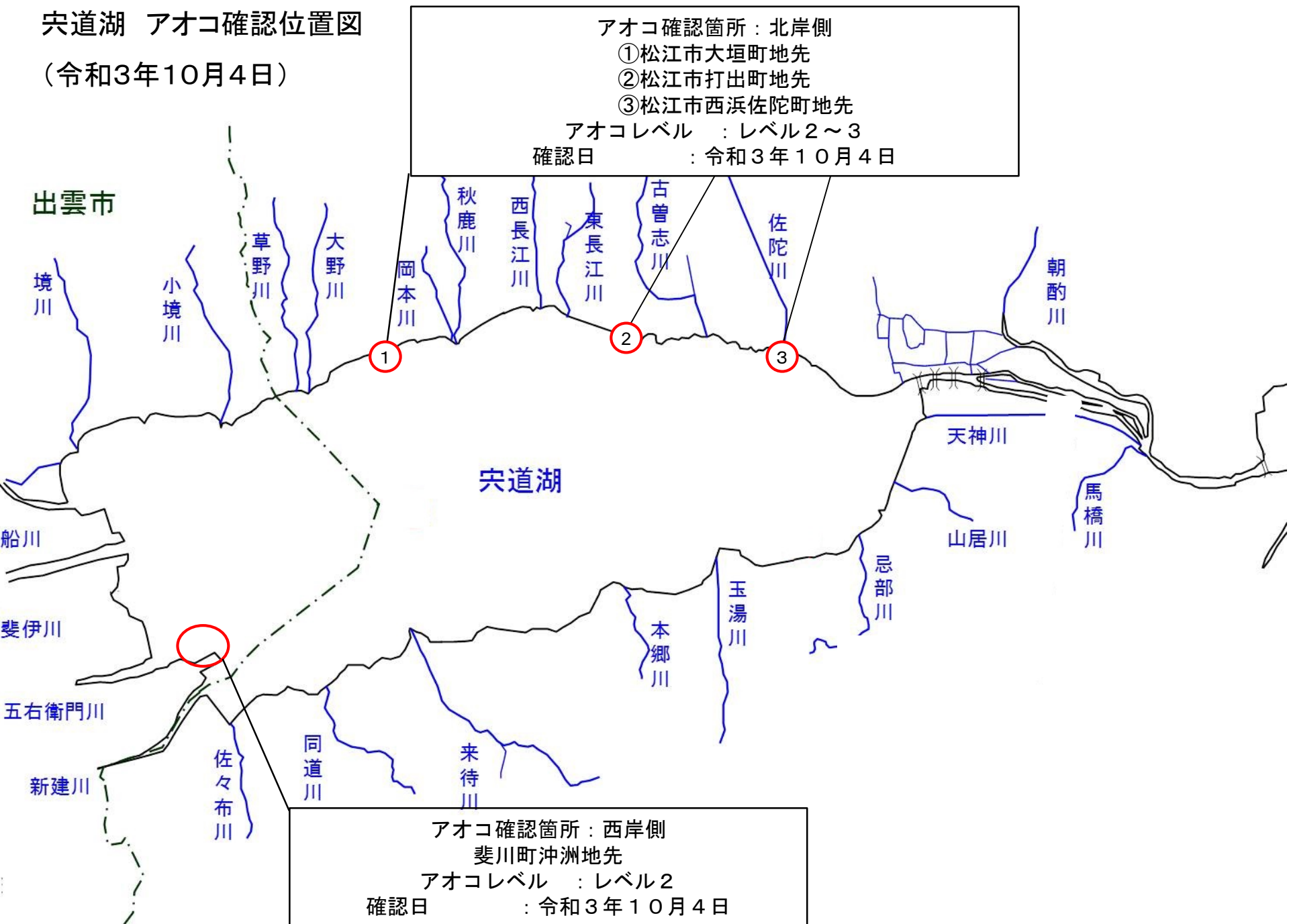
電話 0853（20）1763（直通）

総括保全対策官 若井 克文

【担当】河川環境室長 三原 康宏

宍道湖 アオコ確認位置図

(令和3年10月4日)



	
<p>レベル0： アオコ発生は確かめられない。</p>	<p>レベル4： 膜状にアオコが湖面を覆う。</p>
	
<p>レベル1： アオコ発生が肉眼では確認できない。 (ネットで引いたり、白いバットに汲んで良く見ると確認できる)</p>	<p>レベル5： 厚くマット状にアオコが湖面を覆う。</p>
	
<p>レベル2： うっすらとすじ状にアオコの発生が認められる。 (アオコがわずかに水面に散らばり肉眼で確認できる)</p>	<p>レベル6： アオコがスカム状（厚く堆積し、表面が白っぽくなったり、紫・青の縞模様になることもある）に湖面を覆い、腐敗臭がする。</p>
	<p style="text-align: center;">見た目アオコ指標</p> <p>湖内で一番集積量の多いところ、多い時間帯でその量を以上のようなレベルで分ける。</p> <p style="text-align: center;">国立環境研究所 霞ヶ浦研究会</p>
<p>レベル3： アオコが水の表面全体に広がり、所々パッチ状になっている。</p>	

出典：国立環境研究所「見た目アオコ指標」